

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.7



【発行】
川崎市老人福祉施設事業協会
〒213-0001
川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき内
TEL : 044-812-1231 / FAX : 044-812-2077
<http://www.kawasaki-roushikyo.org/>

就任のごあいさつ



本年4月より健康福祉局長に就任いたしました、伊藤でございます。

川崎市老人福祉施設事業協会会員の皆様におかれましては、日頃より、本市の高齢者福祉施策に対し御理解、御協力をいただいておりますことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、わが国では、今後も少子高齢化の進行が見込まれ、本市につきましても、平成25年4月1日現在では高齢化率が17・83％と、全国の平均24・7％と比べ若い都市といえますが、高齢化が一段と進む平成37年（二〇二五年）を見据え、今後確実に進行する少子高齢化に対応する取組

健康福祉局 局長 伊藤 弘

が大きな課題となっております。

そのような中、本市における高齢者施策においては、平成24年度から26年度までを計画期間とする「第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、介護が必要な方も必要でない方も、全ての高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の構築のために必要な施策を推進しているところでございます。

また、高齢者の多様な居住環境の整備に向け、平成20年度から25年度までを計画期間とする「特別養護老人ホーム整備促進プラン」以後の施設整備や在宅サービスの拡充など、介護基盤の整備手法等に関するあり方について、庁内に「川崎市高齢者介護基盤整備検討委員会」を設置し、今年度内に「（仮称）川崎市高齢者介護基盤整備促進プラン」の策定を予定しているところでございます。

介護サービス等を受けながら在宅で暮らし続けるための支援として「小規模多機能型居宅介護」や24時間対応の「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」などの地域密着型サービスの整備を進めるとともに、介護度が重度になり、これまでの住まいでの生活が困難となった際の利用に向けた取組として「特別養護老人ホーム」等の整備を着実に推進してまいります。

今後ともより一層の御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の御健勝を祈念いたしまして挨拶の言葉とさせていただきます。



福祉施設のご紹介

社会福祉法人 和楽会
特別養護老人ホーム 夢見ヶ崎

〒212-0055
川崎市幸区南加瀬1-7-14
TEL:044-587-1651 / FAX:044-587-1653



【七夕飾り】

特別養護老人ホーム 夢見ヶ崎は、幸区にある夢見ヶ崎動物公園のすぐ近くに位置し、緑豊かな環境の中に建っています。

平成12年4月に開設し、13年の歴史の中で地域とのつながりも強くなり、ボランティアの方々のご協力を得ながら日々入居者の皆様、近隣の利用者の皆様にサービスを提供させていただいております。



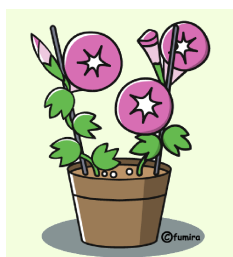
【施設外観】



【桜の季節】

サービスの内容は、特養、ショートステイの他、デイサービス、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを併設しており、それぞれ地域に密着したサービスを心掛けております。

春は夢見ヶ崎の桜の花を楽しめ、5月の鯉のぼり、7月の七夕飾りなどはスケールの大きい飾りを行い、皆様に楽しんでいただいております。職員も明るく、法人の事業である健康増進企画を利用し、職員同士が親睦を図る機会を持つことができます。



これからも『人に優しい施設』をめざして、良質のサービスを提供していきたいと思っています。



【園芸のボランティアさんたち】



【健康増進企画で職員レクリエーション】

福祉施設のご紹介

**社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団
特別養護老人ホーム ひらまの里**

〒211-0013

川崎市中原区上平間611-1

TEL:044-544-3994 / FAX:044-544-3961

また、市営住宅の中には五瀬淵シルバーハウジングがあり、その「生活援助員派遣事業」も実施しています

川崎市特別養護老人ホームひらまの里は、平成11年4月1日に開所し、JR平間駅、鹿島田駅から徒歩15分ほどの閑静な住宅街にあります。建物は上平間五瀬淵住宅との合築になっています。1階には「デイサービス」「居宅介護支援センター」「地域包括支援センター」があり、2階、3階に「特別養護老人ホーム84床」「ショートステイ16床」があります。



入所のご利用者にはできるだけ外出していただけるように、近くのコンビニへ買物に出かけたり、ファミリーストランやフードコートで外食を楽しんだり、遠いところでは浅草や品川水族館などに出かけて楽しんでいます。

ひらまの里は開所以来、多くの地域の方々に支えられています。毎週金曜日にシート交換をしてくださるボランティアさんはじめ、多くのボランティアさんが、地域の方々です。ご利用者さんはいつもボランティアさんの来訪を楽しみにしています。



【敬老会】

これからもご利用者の笑顔あふれる生活とひとり一人を大切にした介護に努め、職員一同努力してまいります。

デイサービスでは、敬老会行事で毎年、地域の小学校や保育園児の訪問があり、楽器演奏やかわいい歌声に元気をもらっています。また、昨年から法人内の保育園、身体障害者デイサービス、ひらまの里入所部門とデイサービスの4者の交流事業でミニ運動会も始めました。



【しながわ水族館】

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 照陽会 特別養護老人ホーム 陽だまりの園

〒213-0004
川崎市高津区諏訪2-10-15
TEL:044-814-5635 / FAX:044-814-5636

陽だまりの園は、平成12年4月1日 介護保険施行の年に開設しました。

1階に通所介護センターのフロアがあり、月曜日から金曜日まで1日34名定員でご利用いただけます。広々としたフロアで、季節を感じていただけるような行事活動や創作活動をおこなったり、出来たて・手作りの食事を厨房のすぐとなりの食堂でゆっくり召し上がっていただけます。

お身体の状態にあわせて入浴サービスも一般浴もしくは座ったまま、肩までお湯につかれる機械浴をご利用いただけます。



事業概要

- ・特別養護老人ホーム 陽だまりの園 50床
- ・短期入所生活介護 陽だまりの園 10床
- ・陽だまりの園通所介護センター 34名
- ・陽だまりの園居宅介護支援センター
- ・陽だまりの園地域包括支援センター



【行事食（敬老の日）】

毎月のお誕生会では手作りケーキでお祝いし入居者の皆様のご長寿を願っております。

このほか書道クラブ・生花クラブ・手芸クラブ・リクライニング車椅子の方にも参加いただけるさわやかクラブなどが活動しています。

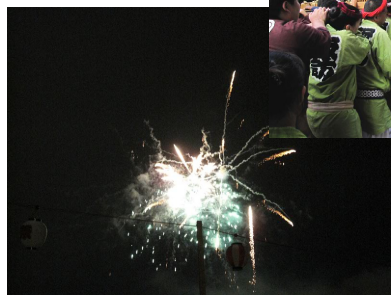
特別養護老人ホームとは生活をするところ、すなわち生きることを支えるところです。是非一度、陽だまりの園へ「遊び」にきませんか？

2・3階は、特別養護老人ホーム・短期入所生活介護のフロアとなり、中庭に陽の光がふりそそぎ、明るく広々とした食堂フロアにも、陽の光があふれています。

3階には、バルコニーがあり、8月の多摩川花火大会にあわせ、御家族の皆様にも多数ご参加いただける夕涼み会を毎年おこなっております。目の前にあがる大花火を入居者の皆様・御家族の皆様・職員一同で眺めながら、今年も花火が観れたことに感謝し来年もまた一緒に花火を観ようと約束するひとときを過ごしています。この他にもバスハイクを春と秋に計画し外出の機会を設けたり、



【諏訪神輿】



【夕涼み会】

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 馬島福祉会
特別養護老人ホーム 大師の里

〒210-0824

川崎市川崎区日ノ出2-7-1

TEL:044-266-1191 / FAX:044-266-1198



特別養護老人ホーム大師の里は、平成10年4月1日に開設しました。

「やさしさに富む介護」「安心して暮らせる施設」この基本理念のもとで「介護老人福祉施設」「短期入所生活介護」「通所介護」「居宅介護支援」「地域包括ケアセンター」の5事業を運営しています。

平成25年4月には、近隣に「だいの里保育園」を開設し、高齢者と子供たちが一緒に、風船バレーなどのレクリエーションを行い楽しい時間を過ごしています。

1階フロアーは、通所介護を運営しています。デイサービスは、土曜日・日曜日も休まず39名定員で営業しています。

利用者様と一緒に季節感のあるイベントやレクリエーションを開催し皆さん笑顔で楽しまれています。



一般浴・中間浴は広々とし温泉気分を堪能できます。機械浴も完備していますので、重度の利用者様も安心してご利用いただけます。2階、3階は介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム、定員50名）短期入所生活介護（ショートステイ10定員名）を運営しています。

2階フロアーは吹き抜け天井になっており、広々と明るく解放感溢れる空間で体操やレクリエーション、音楽療法などを行っています。



2階には機械浴を完備、3階には一般浴・中間浴を完備し、「富士山」の絵を飾り、銭湯さながらの演出をして、入居者の方々に入浴を楽しんで頂ける雰囲気作りを心がけています。



このほか、年2回「大師の里、お買い物サロン」を開催し、洋服・お茶菓子等の食品も並び、ショッピングを楽しむことができます。

大師の里では、ご利用者様ひとりひとりの思いを大切に安心して暮らせる施設を目指し職員一同業務に励んで参ります。

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.7

囲碁・将棋・連珠・オセロ大会開催される



この日は、梅雨の空模様ではありましたが、31施設、144名もの選手が参集し、各種目に熱戦を展開致しました。職員、ご家族の付き添い、来賓、ボランティア審判員の方々など、多勢の参加となり、会場は熱気あふればかりの盛況でした。

この催しは、市内の老人ホームなどをご利用の方々が、生活の場から出て、趣味を通して競技する喜びを感じ、生活の一助となり、施設間の交流を深めていただくため、開かれているものです。

今年も、川崎市老人福祉施設事業協会主催の第31回川崎市老人福祉施設「囲碁・将棋・連珠・オセロ大会」が川崎市民プラザで開催されました。

大会参加のみなさんが、一同に会した中で、10時から開会式。事業協会の深瀬亮一会長の「健闘を期し、勝負を楽しんで」との挨拶で始まり、10回出場の方々の表彰、川崎市社会福祉協議会の特別表彰があり、次いで選手宣誓。等々力ホームの菊地恒夫様の落ち着いた力強い声で、「みなさんと和やかに」と戦いに入らんとする気持ちを述べられました。

競技は、特養部門と一般部門に分かれ、各種目別に戦いが始まりました。

顔を紅潮させて、盤面を見据える方、笑みながらゆっくりと構える方、忙しく駒を打ちながら音を出す方、無念夢想と思える方、さまざまな様子でした。



午後の部の戦いも、勝ち進んだ方の勝負は、増々熱が入り、延長戦もあり、終了すると意気揚揚の姿やぐつたりした様子に厳しさが出ていた光景がありました。特に、将棋の決勝戦は、審判の判定もつかず、ジャンケン決着となる戦いでした。

熱戦を囲む観戦者も選手の一手一手にハラハラしながら、声をこらえて見入りました。

勝敗が決すると、歓声とため息が飛び交い、一ときの悲喜こもごもの風景があちこちに見えました。



【10回連続出場者への特別表彰】

【大会優勝者への表彰】



【大会最高齢者への特別表彰】



この催しは、TVK神奈川の取材があり、同日、皆さまの姿が放送され、最高齢101歳参加の幸区永縄様の意気軒高な姿がありました。

次の機会への参加を期し、無事に閉幕となりました。

日頃は、ホームでの生活の方、日毎に利用される通所の方々、それを支える職員の人たち、それぞれの方がこの大会の意義に思いを馳せたことでしょう。

閉会は、川崎市長賞が川崎市健康福祉局佐藤部長より、各部門の優勝の方々に、準優勝、3位入賞の方々には、事業協会会長賞が贈られ、その栄誉が大いに讃えられました。

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.7

平成25年度 第1回職員研修会「口腔ケアについて」



平成25年6月28日てくのかわさきホールにて当協会研修委員会主催の職員研修が行われた。

テーマは「口腔ケアの必要性」及び「いつまでもお口から食べて頂くための口腔ケア」であり、前半は村山歯科医院院長の村山真人氏、後半は歯科衛生士の山田あつみ氏に講演頂いた。

村山先生は嚥下障害から誤嚥が生じ肺炎に至る過程についてビデオを交えながら説明され、近年、薬に耐性のある菌が増加し肺炎による高齢者の死亡率が第3位に浮上したことに警戒を示された。その上で口腔ケアに歯茎を磨くことを取り入れると脳が活性化され嚥下機能が向上し肺炎死亡率が半数以下に減少するデータを例として口腔ケアの重要性を講義された。



山田先生は口腔ケアが2種類「歯磨き」「口の体操」であることを説明され、認知症で胃ろうの高齢者に口腔ケアを通して経口摂取回復までの実践例についてビデオを交えてわかりやすく講義された。

最後に「歯磨きは誤嚥を防ぐのではなく、誤嚥の質を変える」と教えて頂いた。職員の関心は高く研修終了後も20分にわたり両先生に質問が活発に飛び交った。

編集後記

当協会の活動内容を伝えるために創刊された「らくふく瓦版」も4年目を迎え、ここに第7号を発行することができました。

4月の人事異動に伴い、新たに健康福祉局長に就任された伊藤様のご挨拶を巻頭に、毎年開催されている当協会文化事業の一つである「第31回川崎市囲碁将棋連珠オセロ大会」の熱戦の様様、さらに、職員の研修を目的に開催される職員研修会の様子を掲載しました。

また、4月以降に新たに4施設が開設され当協会に加盟されました。そうした新しい施設も含め、施設紹介を順次掲載していきますのでお楽しみください。

「らくふく瓦版」は、市内の高齢者福祉施設の様子を少しでも皆さんに伝えられるよう、広報委員が工夫した誌面作りをしています。どうぞよろしくお願いたします。